

＜男性の育児休業取得に関する研究会報告書（ポイント）＞  
男性の育児休業取得に関する実態

Q 育児休業を取得した理由（男性、複数回答）

- ・「配偶者や家族から希望があった」（43.8%）
- ・「自分の勤務先の方が育休制度の内容が充実していた」（18.8%）
- ・「職場が育児休業を取得しやすい雰囲気であった」（18.8%）

Q 休業を取得しなかった理由（男性、複数回答）

- ・「自分以外に育児をする人がいた」（57.3%）
- ・「職場への迷惑がかかる」（41.1%）
- ・「業務が繁忙であった」（42.7%）

Q 男性の育児休業取得促進に必要と考えられる対応（男女、複数回答）

- ・「職場の理解の向上」（85.1%）
- ・「昇格に影響しないなどの人事制度の整備」（80.7%）
- ・「社会一般の理解の向上」（70.4%）

## 男性の育児休業取得を阻害している要因

### 労働者側の要因

- ・ 法制度に関する理解不足
- ・ 育児は女性の役割という意識
- ・ 女性に比べた休業取得ニーズの低さ（共働き男性は職場で少数派）
- ・ 夫婦における収入格差の存在

### 企業側の要因

- ・ 上司や同僚の理解不足
- ・ 仕事の量の問題  
（仕事量が多いと休みにくい）
- ・ 仕事の質の問題  
（基幹的職務に代替がない）
- ・ 昇給や昇格に与える影響への懸念

## 男性の育児休業取得促進のために必要な企業の取組

### ◎企業の普及段階にかかわらず必要な取組◎

- ・ 現行制度の周知徹底
- ・ 男性の育児休業取得事例や企業の対応事例の収集、提供 等

### 【男性の育児休業取得者がいない企業】

- ・ 妻の出産後の休暇取得の促進
- ・ 男性の育児休業を特別視しない職場環境づくり 等



### 【男性の育児休業取得者が比較的多い企業】

- ・ 休業取得に伴う仕事の配分方法のルール化
- ・ 仕事と子育ての両立の多様なニーズに応える働き方の実現 等

男性の育休普及度↓